

すまいるたうん



発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

一期一会 心の語録⑤

- 「今いるお客様を大切にしたい」
103号 衣類の総合病院 今井クリーニング
- 「はじめる・ささえる・つなげる」
104号 出合い・気づき・学ぶ 荒川ボランティアセンター
- 「見えない障害です」
106号 コミュニケーションを楽しむ リハビリ 失語症の会「お茶の会」
- 「モーターの音が大きくて、身振り手振りで話していました」
108号 大和毛織の思い出 赤煉瓦の青春
- 「震災も空襲も縁がなかったのは、三ノ輪と神田佐久間町でした」
110号 三ノ輪の語り部（1911年〜2011年） 小林マツさんの記憶Ⅰ
- 「点と点を繋ぐ」
111号 お互い様、おかげ様 ここにこサービス
- 「休みは月二回。朝7時から7時まで仕事でした」
112号 日本羊毛工業の発祥の地 陸軍千住製絨所 石川勝子さんの思い出
- 「文化は一度に來ない。徐々に來る」
114号 小林マツさんの記憶Ⅱ
- 「三ノ輪では火事もつづれた家もなかったね」「家ひし形になり天井が低くなつた」
117号 関東大震災 北豊島郡南千住町の記憶 たぐりよせて
- 「都電ビールが売れてます」
118号「都電の街」ブランドをお土産に 野田屋酒店森谷
- 「自分の楽しみで造った城を多くの人に見てもらいたい」
121号 カッター一刃で城を成す 愛城家 長谷川進さん
- 「お小遣いなんてことばは、知らなかったですね」「かあちゃん、おあし」「何に使うの」「紙芝居」
122号下町っ子の昭和 高橋澄夫さん
- 「苦しさの中に楽しさを見つけて」
126号 絆・心ひとつに 南星ハリケーン
- 「好きな音楽で生きてこれて幸せ」
128号 昭和の香り 流しで半世紀 中村実さん
- 「子供達の目を輝かせたい」
129号 地域の宝を掘り起こす 夢仕事人 ひげの梶さん
- 「心を込めて、聴かせていただく」
132号 傾聴ボランティアグループ ダンボの会
- 「ブドウ糖が甘くて、こっそり舐めたこともありました」
141号 田中さんの看護婦人生（昭和2年生）
- 「フルートのつもりで吹けば、フルートの音色に、クラリネットのつもりで吹けばクラリネットの音色に」
144号 ドリームパイプ（尺八）を子供達に「地域の中で障がい者が生活できる場所を」
- 150号 手作りお弁当、配達致します 特定非営利活動法人 フレンドあらかわ
- 「高齢者の生活を総合的に支えます」
153号 あなたの身近な相談相手 地域包括支援センター
- 「子供の喜ぶ顔が嬉しい」
156号 おもちやを元気にする 荒川おもちゃ病院
- 「タクシーで來た甲斐がある」
162号 都電裏通り、隠れた名店 焼肉もりちゃん
- 「心の目で見ると表情が出てくる」
170号 なごみ創作人形の会 岩野ノブさん
- 「百聞は一見にしかず。」
179号 人の手から人の手へ 施設救助隊 侍 自分ができることは何か
- 「訓練すれば働ける」
182号 温かなパンで暖かな心を 移動パン屋フリージア
- 「家庭の味を大切にしています」
185号 安くて早くて美味しい 静かな空間 近江屋食堂
- 「個人、グループでボランティア活動をしている方達を繋げる場所です」
186号 人を繋げる架け橋 であらかわボランティアネットワーク

